

株 主 各 位

ミネベアミツミ株式会社  
代表取締役 貝 沼 由 久

## 当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収防衛策）の更新について

平成26年6月27日開催の当社定時株主総会にてご承認いただきました「当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収防衛策）」は、本年6月29日開催予定の当社定時株主総会終結の時をもって有効期間が満了となりますので、買収防衛策を一部改定して更新いたしたく、本総会に議案として上程しております。買収防衛策更新案の詳細につきましては、同封の招集ご通知 第4号議案に記載のとおりであります。当議案を上程する背景についてご説明いたします。

### 買収防衛策更新の議案上程の背景

当社は、ミツミ電機株式会社との経営統合を機に、機械・電子技術と制御技術を融合した「エレクトロ メカニクス ソリューションズ®」プロバイダーとして、平成33年3月までに売上高1兆円または営業利益1,000億円を達成することを中長期目標に掲げております。この経営方針に集中して経営資源を投入することが、当社の企業価値を高めるものと確信しております。

一方、当社は、昭和60年代に、濫用的買収者（いわゆるグリーンメーラー）により当社株式を大量に取得され、株価が乱高下して、株主の皆様にご迷惑をおかけした経緯があります。この対応のために、多額のコストを要しただけでなく、当社の経営戦略を推進・展開するための貴重な時間と経営リソースを空費するに至ったことは、当社にとって非常に苦い経験です。IoT時代の到来を迎え、技術革新のスピードが益々加速していく中で、経営統合を果たした直後というこの貴重な時期に、上記のような形で濫用的買収者への対応のために貴重な経営資源を費やすことは、当社の企業価値の最大化にとって致命傷にもなりかねません。

当社としましては、当社株式が大量に取得されることそのものを否定することはなく、当社の企業価値を十分に向上させることが期待される買収提案に基づくものであれば、当然ながら積極的に対応いたしますが、買収提案が、当社の中長期的な企業価値ひいては株主の皆様の共同の利益を確保・向上させるものであるか否かを株主の皆様にご判断いただくためには、買収防衛策を更新することが有効、かつ必要であると確信しております。

株主の皆様には、上記背景をご理解いただいた上、ぜひ議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

以 上